

18

第13回整形外科・リウマチ懇話会IN九沖

Newsletter

発行責任者

実行委員長 家入雄太

2025年6月27日

開催日：2025年6月20日（金）13:30～21日（土）13:00

会場：JR HAKATA CITY 10階/9階会議室

テーマ：「多職種で進める地域の健康づくり」

大成功に終わった第13回整形外科・リウマチ懇話会
ご参加いただき、またご協力いただいた皆様に
心より感謝申し上げます。



記念講演

「地域に広げるヘルスプロモーション～地域の力とSDHの視点～」

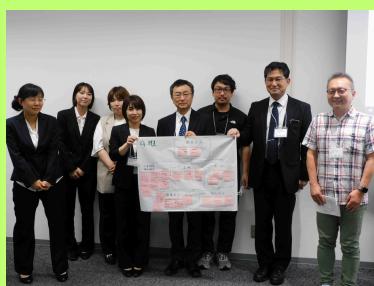
講師：福岡医療団 舟越光彦理事長

治療とヘルスプロモーションの組み合わせ、SDH（健康の社会的決定要因）

の考慮、地域活動への積極的参加の重要性を強調し、地域連携の意義を再認識する機会となりました。

多職種グループワーク

ICF（国際生活機能分類）の視点から多職種の力が必要である4症例について地域医療の課題抽出と解決策を活発に議論。各職種の専門性を発揮しました。



本懇話会を通して、地域における多職種連携の重要性が改めて確認され、具体的な連携の形や課題解決に向けた活発な議論が交わされました。89名の参加者の中には、研修医が13名、医学生が6名が含まれており、将来の民医連医療を担う若手にとって、多職種連携の現場を実際に体験し、将来について考える貴重な機会となりました

指定報告(タイトル)

- ①「令和6年能登半島地震 被災診療所の経験と関節リウマチ患者の現状」
- ②「フランス研修報告」
- ③「理学療法士が地域の健康づくりに参加してみて」
- ④「北九州市地域リハビリテーション支援事業協力機関としての健康サロン活動について」
- ⑤「二次性骨折予防の取り組み」

分科会 合計31演題

第一分科会：整形外科治療の最新情報、周術期管理における看護師の役割。

第二分科会：リウマチ治療、診断から生活支援における看護師・理学療法士の役割。

第三分科会：多職種協同治療、リハビリテーションの具体例、チーム医療での連携。

各分科会での知見は、参加者の専門性向上と地域でのアクションプランに繋がる示唆に富んでいました。



《お問合せ先》

第13回整形外科・リウマチ懇話会事務局 福岡民医連事務局 大賀九三子

(TEL)092-483-0431 (FAX)092-483-0435 E-Mail : seikei-riumati@f-kenren.or.jp